

「ラグビー班花園出場記念」トップリーガー対談

「W杯2019出場を目指す！」

NECグリーンロケッツ

細田佳也 (高58回)



宮島裕之 (高63回)



飯田高校ラグビー班が昨年暮れ、6年ぶり8回目の花園(全国大会)出場を果たしたのに続き、来年には「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が開かれる。そこで、在京飯田高校同窓生で、トップリーグのNECグリーンロケッツで活躍中の細田佳也選手と宮島裕之選手に高校時代の思い出や近況を聞いた。2人とも、この中で「目標は、来年のワールドカップで日本代表になることです」と力強く宣言した。

楽しかったから続けられた

——2人とも上郷ラグビースクール出身ですが、ラグビーを始めたきっかけを教えてください。

試合をさせられるし、疲れるし嫌だったのです。「6年生になったらやめる」と言い続けて、親にも了承してもらったのですが、6年生になってから「もうちょっと続けてみないか」と監督から手紙をいただいたので、中学生までやり続けてみたら面白くなってきた、といった感じですね。

宮島 僕も、自分からではなく、家族ぐるみで付き合い合っていた幼馴染のお父さんから薦められました。その方が、ラグビースクールのコーチをしていて、人が足りないしやってみないかと。小学校3年生から始めました。土のグラウンドでドロドロになって汚いし、危ないし、服をほろほろにして帰ってくるので、親は反対で「そんなのやるん



ウィングの宮島選手 (NECグリーンロケッツ提供)



●ほそだ・よしや
上郷町(現飯田市)出身。日本大学文学部卒。2011年NEC入社、グリーンロケッツ加入。日本代表キャップ2。オフは昨年12月に結婚したばかりの妻との会話を楽しみなが、コーヒーマシンを自宅につろぐ。192センチ・103キロ。



●みやじま・ひろゆき
上郷町(現飯田市)出身。同志社大スポーツ健康科学部卒。2015年NEC入社、グリーンロケッツ加入。趣味はドライブで、海ほたる、アリオ柏、ららぽーと南船橋、お台場などに出掛けるなどアクティブに過ごしている。182センチ・85キロ。

細田 小学校2年生の時に、「人がやらないことをやってほしい」と、親から勧められたのがきっかけだったようです。僕はバスケットボールをやったのですが…(笑)。中学生の時は、ラグビー以外に100メートル走、走り高跳び、砲丸投げの総合得点を競う「3種競技」もやっていました。当時は今とは違って、細くて力がなかったので砲丸投げは大変でした。小学生の時にはラグビーは好きではなかったです。正直痛いし、同年の友達も少なく、上の学年と

じゃない」と言われ続けていました。それでも続けていたのは、楽しかったんだと思います。中学校では僕は陸上をしていたのですが、当時はラグビーよりも陸上のほうが楽しくなっていましたね。種目は、走り高跳びがメインで、「4種競技」もやっていました。細田さんの時は「3種競技」だったのが、僕の時は110メートルハードル、砲丸投げ、走り高跳び、400メートル走の4種目が変わっていました。今でも中学校では「4種競技」だそうです。

受験勉強との両立に苦労

——上郷ラグビースクールや飯田高校のときとポジションは変わっていませんか。

細田 スクールカラーはだいぶ変わっていますし、小学生の時から人数制も違うので一概には言えませんが、小学生ではスタンドオフやセンターなどをやっていました。実はちゃんとフランカーをやったのは社会人になってからなのです。高校と大学ではロックとナンバーエイトでした。自分としては、フランカーかロックが合っていると思っています。

宮島 上郷ラグビースクールではセンターをやっていたと思います。高校はスタンドオフとフルバックで、大学からウィングとフルバック。今もウィング、フルバックです。



対談する細田選手（左）と宮島選手

が定時の勤務時間となります。月、火、木、金、土曜日が決まった練習がある曜日で、土日は午前のみ8時から10時まで練習があります。

宮島 僕は、営業部門の社員が地域の教育委員会や小学校に営業を始め

ウイングかフルバックが自分には合っていると思います。

——飯田高校時代の戦績を教えてください。

細田 3年生の時にキャプテンをしていたのですが、花園の一步手前の県大会準決勝で、長野高校に負けたのが悔しかったです。自分たちは勝つというつもりで行ったので、すごく悔しいというか、「負けると思っていなかった高校に負けちゃったなあ」という感じでした。何とも言えない、不完全燃焼の思いが残っています。

宮島 僕は1年生の時に10年ぶりに花園に出場し、2年生でも2年連続で花園に行きました。フルバックの選手として花園の第1グラウンドで開幕戦に出られたことが、強く印象に残っています。ただ、3年生の時は県大会決勝で岡谷工業高校に負けてしまった。この時はあと一歩というところだったので、悔しかったですね。

——ラグビーをしながらの受験勉強は大変でしたか。

細田 花園を目指して毎日練習を3時間するなど、厳しく指導を受ける日々を送っていたので、当時は家に帰ったら「ご飯を食べて寝るだけ」という生活でした。ですので、高校時代は「ラグビーと勉強が大変すぎた」という思い出しにくいくらいです。理系クラスを選択したので、ラグビーと勉強の両立は、それはもう大変で、選択を間違ったと思いましたよ。特に物理が難しかった。体

育教師を目指して、一浪の末に一般入試で日本大学文理学部体育学科に入学したのですが、浪人中も体育の実技試験対策が学べる予備校に通い、身体能力を落とさないように努めました。それでも、大学に入ってから（体力を取り戻すのに）けっこう大変でした。

宮島 僕は文系クラスを選択して、同志社大学スポーツ健康科学部に推薦で入りました。当時から監督をされていた湯沢一道監督（高33回）が「飯田高校はスポーツと勉強の両立だ」という指導だったので、自分の中では両立できるように努力したし、どうにか両立させていたつもりです。

「練習は効率良く、短く」

というのが監督の方針で、

練習時間は2時間あったかな、というくらいです。

——現在の選手兼会社員としての生活

は。



フランカーの細田選手（NECグリーンロケッツ提供）

細田 NEC総務部・我孫子総務で、主に我孫子事業場の安全管理の業務を担当しています。練習で朝が早いので、自宅はこの我孫子事業場の近くです。朝は6時15分から30分の間に起きて自宅を出て、7時30分からの早朝練習の前にグラウンドで準備を整えるようにしています。9時まで練習した後、1時間で朝食をとります。その後、10時から3時までが勤務時間。午後の練習は4時から長くて2時間程度で、終わった後は個人練習や体のケアをして、7時過ぎに自宅に戻るといった毎日です。水曜日はラグビーの練習がないので、8時30分から5時15分ま

でが定時の勤務時間となります。月、

火、木、金、土曜日が決まった練習がある曜日で、土日は午前のみ8時から10時まで練習があります。

宮島 僕は、営業部門の社員が地域の教育委員会や小学校に営業を始め

る前段階の（新規顧客開拓の）ドアノックの部分を担当しています。今は小学校のカリキュラムにラグビーが取り入れられています。会社としては「せっかくラグビー選手がいるのだから、営業に活用できないか」と考えたようです。具体的には「タグラグビー教室」の斡旋を教育委員会に働きかける業務を担当しています。我孫子事業場の事務作業の合間に、お客様のところに外回りを行っています。僕も朝の7時過ぎにはグラウンドに行き、練習後に業務につきますが、営業のため外出もします。千葉県内の我孫子、柏、野田、松戸を中心に担当しています。

後輩たちへ「とにかく楽しんでほしい」

——昨年の花園での飯田高校の試合は観ましたか。

細田 少しだけ見ました。2回戦はしんどそうでしたね。ディフェンスが良かったという感想も聞きました。今の自分が出ていたらこうしたら、と思うことはあるかもしれませんが、高校生としては精いっぱいやっていただけではないでしょうか。今の自分なら、もっとボールを動かしてよいのでは、と思います。

宮島 僕は結構見ましたよ。2回戦は、花園に弾丸で行ってききました。（対戦相手の）桐蔭学園高校出身の先輩と2人で行ったので、片方が喜んでもう片方は「うーん」とい

う図に。とてもつらかったので、帰りは新幹線の中で静かにしていました。あんなに点を取られるとは思っていませんでした。あんなに残念でした。ただ、随所にいいプレーもありましたし、ディフェンスもくらいついていたね。結果から目をそらすのは良くないので、次につなげていってほしいと思います。もっと前を見て敵の状況を見てほしいです。

—— 飯田高校の現役選手へのアドバイスは。

細田 とにかくラグビーを楽しんでほしいですね。勝ち負けにこだわるのも大事ですが、監督の意向もありますし、一概には言えないのですが、ラグビーをやっている以上は楽しんでもらうことが一番だと思います。飯田高校生は頭がいいので、他のチームを見るなどして積極的にラグビーを勉強することを薦めたいと思います。自分も練習を乗り切るつもりで頑張っていました。部活の枠を超えてもっと楽しむことができたら良かったかもしれません。今は、ラグビーについて自分たちで考えて動くことが多いので、やはり当時とは全然違うかもしれませんね。また、ラグビー班の同期とは交流が続いており、帰省した時にも飲んだりしますので、ずっと続く仲間は大事にしてほしいと思います。大学入試については、自分の時には推薦の話がなかったのですが、僕が3年生の

では家族と一緒にですね。

—— 「ラグビーとは何か」と問われたら。

細田 「痛いことをする」ので、人の痛みが分かること、でしょうか。人の気持ちを考えられるようになったのかな、と思います。そして、自分にとつてのラグビーは「人生そのもの」です。人脈も含めて、自分を成長させてくれたものがラグビーだと思っています。

宮島 どのスポーツにも共通するかもしれませんが、「自分を成長させてくれるもの」です。仲間や人とのかわり合いで、いろいろな経験をさせてもらえる。怪我も、挫折もするけど、そこから這い上がるといった、いろいろな経験をできることが魅力です。僕自身が出来上がったのはラグビーのおかげかな、と思います。

—— 今後の目標は。

細田 今度のワールドカップで日本代表選手になることはあきらめていないので、そこが目標です。日本が勝てるかは分かりませんが、その場に立ちたい。年齢もありませんが、来年を目指して頑張りたいと思います。

宮島 僕も日本代表に入りたいです。ワールドカップと、東京オリンピックの両方を目指していきたいと思っています。

《取材を終えて》

早い桜の花が散り、若葉が萌え始めた千葉県我孫子市

時に監督に就任された湯沢さんは僕らの後に推薦入学の仕組みを作られたようですね。

宮島 僕も同じく、ラグビーを楽しんでもらえたらいいなと思います。高校時代は3年間しかないもので、その時間を十分に使ってほしいです。今ならもっと楽しめたかな、と思います。また、監督が言っている意味をしっかり理解して取り組んでほしい。言われるがままではなく、自分なりに理解してプレーすることも大切ではないでしょうか。他の人のプレーを見て、こんなプレーをしたいと思うように、ラグビーをいっぱい見てほしいです。僕は、勉強のほうは集中できる場所を作っていました。上郷図書館の勉強スペースです。湯沢監督が「ラグビーをやっている仲間は戦友だ」と仰っていたように、ラグビーを通じて知り合った仲間を大事にして、未永く付き合えればいいですね。

ワールドカップと東京五輪出場が目標

—— 飯田に帰省したときに必ずすることは。

細田 宮島 焼肉は絶対食べます。

細田 飯田は焼肉店が多いことで有名なんですね。テレビでそう紹介されているのを見て知りました。でも、最近はお店ではなくて実家で家族と焼肉をするほうが多いです。

宮島 僕は外食でも実家でも食べます。外では友達、実家

にあるNECグリーンロケッツのクラブハウス。インタビュー中、終始柔らかな笑顔を崩さなかった、細田さん、宮島さんの締め括りのひと言に込められた静かな闘志が印象に残りました。昨年は花園に応援に行ったし、私の父が飯田高校ラグビー班出身とラグビーに縁深いこともあり、すっかり両選手のファンになりました。

(インタビューまとめ・小澤純子)



細田・宮島両選手をはさんと
左から聞き手の金田明夫 (高7回)、熊谷春一 (高23回)、小澤純子 (高43回)、原誠 (高23回)、田中正通 (高23回)